

オーストラリア株式ファンド

運用報告書（全体版）

第51期（決算日 2021年5月17日）第52期（決算日 2021年8月16日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「オーストラリア株式ファンド」は、2021年8月16日に第52期の決算を行ないましたので、第51期と第52期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2008年9月26日から2023年8月15日までです。	
運用方針	主として「オーストラリア株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざします。	
主要運用対象	オーストラリア株式ファンド	「オーストラリア株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	オーストラリア株式マザーファンド	オーストラリア企業が発行する金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	オーストラリア株式ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	オーストラリア株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

<441031>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S&P/ASX (円換算 ベンチマーク)	200指数 ベース)		株式 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配)	税 分	達 配		み 金	期 騰			
	円		円		%	%	%	%	百万円
43期(2019年5月15日)	8,139		360	△ 0.5	108.13	△ 0.2	91.1	3.7	2,530
44期(2019年8月15日)	7,602		360	△ 2.2	107.85	△ 0.3	90.0	5.6	2,597
45期(2019年11月15日)	8,012		360	10.1	113.45	5.2	88.3	6.8	2,825
46期(2020年2月17日)	7,629		360	△ 0.3	119.96	5.7	88.9	6.7	2,907
47期(2020年5月15日)	4,924		360	△30.7	84.45	△29.6	87.9	7.8	2,125
48期(2020年8月17日)	5,934		360	27.8	107.04	26.8	85.6	8.6	2,761
49期(2020年11月16日)	5,926		360	5.9	111.52	4.2	82.8	11.8	2,817
50期(2021年2月15日)	6,415		360	14.3	126.74	13.7	85.8	10.9	3,322
51期(2021年5月17日)	6,738		360	10.6	135.98	7.3	85.7	6.0	3,992
52期(2021年8月16日)	6,685		180	1.9	140.19	3.1	89.3	5.8	4,762

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) S&P/ASX 200指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス (S&PDJI) が発表している、オーストラリア証券取引所上場の時価総額上位200銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。同指数の(円換算ベース)とは、公表指数を基に円換算したものです。なお、設定時を100として2021年8月16日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		S&P/ASX (円換算 ベンチマーク)	200指数 ベース)	株 組入比率	投資信託 組入比率
		騰 落 率	騰 落 率				
第51期	(期首)	円	%		%	%	%
	2021年2月15日	6,415	—	126.74	—	85.8	10.9
	2月末	6,724	4.8	129.91	2.5	84.0	10.8
	3月末	6,815	6.2	129.71	2.3	84.2	10.9
	4月末	7,100	10.7	136.96	8.1	85.0	8.3
	(期末)						
	2021年5月17日	7,098	10.6	135.98	7.3	85.7	6.0
第52期	(期首)						
	2021年5月17日	6,738	—	135.98	—	85.7	6.0
	5月末	6,832	1.4	138.56	1.9	86.3	6.3
	6月末	6,744	0.1	138.48	1.8	86.3	6.0
	7月末	6,640	△ 1.5	136.86	0.6	88.9	5.8
	(期末)						
	2021年8月16日	6,865	1.9	140.19	3.1	89.3	5.8

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

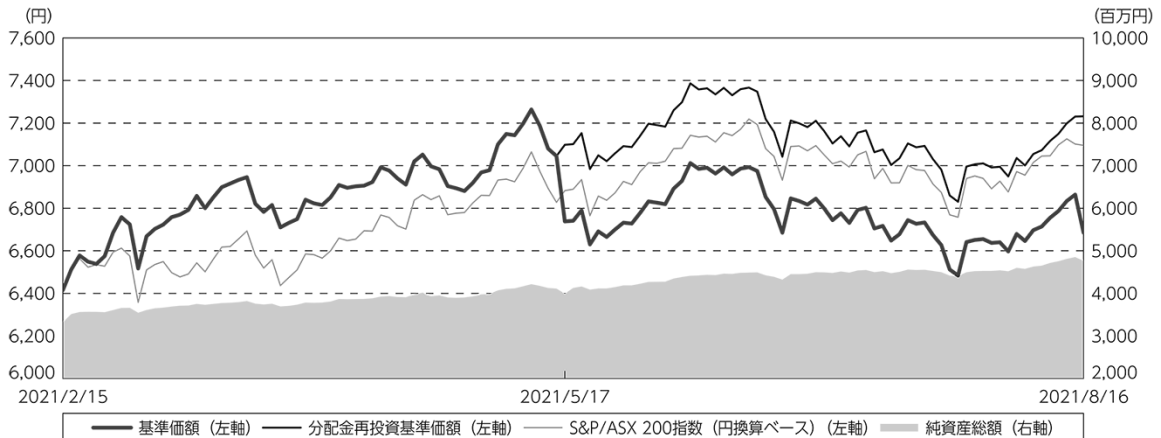
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2021年2月16日～2021年8月16日)

作成期間中の基準価額等の推移



第51期首：6,415円

第52期末：6,685円 (既払分配金(税込み)：540円)

騰落率：12.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびS&P/ASX 200指数(円換算ベース)は、作成期首(2021年2月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) S&P/ASX 200指数(円換算ベース)は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の変動要因

当ファンドは、主として、オーストラリアの株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・新型コロナウイルスのワクチン接種の進展による経済活動の正常化が期待されたこと。
- ・米国のインフラ投資計画が大統領と超党派議員との間で合意され、米国を中心とした世界の景気回復期待が高まったこと。

＜値下がり要因＞

- ・新型コロナウイルスの感染再拡大を受けた経済活動の制限強化への警戒感から、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと。

- ・米国連邦準備制度理事会（FRB）が利上げ時期を前倒しするとの観測から、先進国を中心に景気の鈍化が懸念されたこと。

投資環境

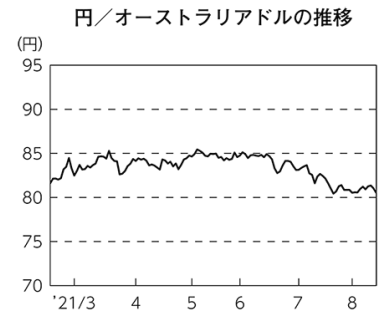
（オーストラリア株式市況）

オーストラリア株式市場は、期間の初めと比べて上昇しました。

期間の前半は、新型コロナウイルスのワクチン普及による世界の経済活動正常化への期待の高まり、またこのようなファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を受けた長期金利の上昇や、資源価格の上昇、そして堅調なオーストラリアのマクロ指標などを追い風にオーストラリア株式市場は堅調に推移しました。テクノロジーセクターでは長期金利の上昇などを受けて利益確定売りが先行する場面があったほか、一部の州での洪水被害、また新型コロナウイルス対策としてロックダウン（都市封鎖）がありましたが、市場への影響は軽微にとどまりました。期間の後半にかけての株式市場では、失業率などが改善を続け市場の追い風となりましたが、金融セクターが2021年6月後半から一時軟調となったほか、新型コロナウイルス変異株の感染拡大も懸念され方向感が出にくい市場環境となりました。ただ期間末にかけては世界的に株価が上昇基調で推移するなか、オーストラリア株式市場も堅調に推移しました。

（為替市況）

期間中における円／オーストラリアドル相場は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「オーストラリア株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（オーストラリア株式マザーファンド）

期間中、ポートフォリオでは、業種リスクなども考慮した上で活発な銘柄入替を行ないました。

この半年間で見ると、同業種内でも積極的に売買を行ないました。具体的には、オーストラリア株式を代表するような大型の素材株を若干入れ替えました。ほかにもディフェンシブ（景気動向に左右されにくい）な生活必需品セクターで売り買いを行なっております。また大幅なアンダーウェイトとなっていたヘルスケアセクターでは、魅力的なバリュエーション（株価評価）であった銘柄に積極姿勢で臨んだほか、オーバーウェイトとなっていた金融セクターについては、ファンダメンタルズとバリュエーションを慎重に検討した上で、複数銘柄の部分売却を行なっております。

当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は、12.7%（分配金再投資ベース）の値上がりとなり、ベンチマークである「S&P/ASX 200指数（円換算ベース）」の上昇率10.6%を概ね2.1%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

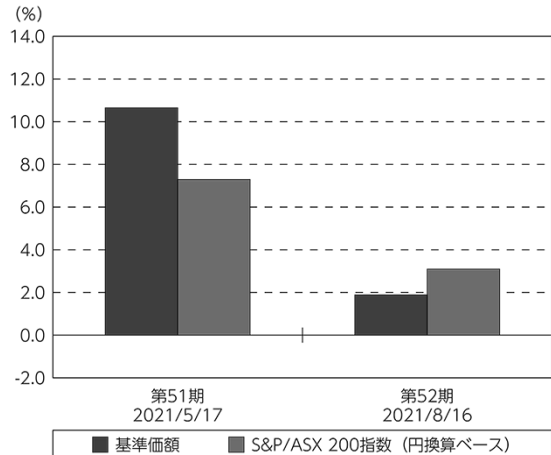
<プラス要因>

- ・銀行大手/ANZ銀行グループ（金融）：当期間、銀行株はおおむねアウトパフォームしました。主要銀行の業績は、不良債権比率の低下などが予想され市場から好感されました。株価の上昇からオーバーウェイトポジションがプラスに寄与しました。
- ・容器・包装メーカー/オーロラ（素材）：当社は米国に大きな商圏を持っていますが、米国の産業用包装材料市場や段ボール箱市場が好調であったことから、株価が好調に推移しオーバーウェイトポジションがプラスに寄与しました。

<マイナス要因>

- ・商業銀行大手/オーストラリア・コモンウェルス銀行（金融）：当期間、銀行株はおおむねアウトパフォームしました。主要銀行の業績は、不良債権比率の低下などが予想され市場から好感されました。株価の上昇からアンダーウェイトポジションがマイナスに影響しました。
- ・多角経営企業/ウェスファーマーズ（一般消費財・サービス）：ホームセンター部門の販売が引き続き好調だったことや資本の効率化について肯定的なコメントがあったことから同銘柄はアウトパフォームし、アンダーウェイトポジションがマイナスに影響しました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) S&P/ASX 200指数（円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第51期	第52期
	2021年2月16日～ 2021年5月17日	2021年5月18日～ 2021年8月16日
当期分配金	360	180
(対基準価額比率)	5.072%	2.622%
当期の収益	360	118
当期の収益以外	—	61
翌期繰越分配対象額	2,103	2,044

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、原則として「オーストラリア株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないます。

(オーストラリア株式マザーファンド)

2020年後半に始まったスタイルローテーションとバリューストック株の急激な上昇にもかかわらず、ここ数年ではバリューストック株はグロース株に対して大幅にアンダーパフォームしています。バリューストック株は一般的に、企業収益の大きな谷の後、長期間にわたってアウトパフォームする傾向があります。今回、この結果が繰り返されない理由はほとんどなく、長期にわたるアンダーパフォームと依然として割安なバリューストック株が多く見受けられることを考慮すると、バリューストック優位は長期化する可能性があります。バリューストックローテーションの次の段階では、割安なバリューストック銘柄の利益成長と、割高な銘柄の株価収益率(PER)の低下が、超過収益の原動力になると期待しています。

バリューストック運用には厳しい10年を経て、規律ある運用プロセスを備えたバリューストック投資家が報われるような魅力的な投資機会が訪れていると考えています。当ファンドの運用プロセスは、この投資機会を前にして良好な位置にあります。当ファンドでは、長期的な投資期間を活用して現在の不確実性のかなりの部分を見通すこと、また緻密なボトムアップにより景気回復時に報われる可能性の高い割安な銘柄を特定することに注力します。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年2月16日～2021年8月16日)

項 目	第51期～第52期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	60	0.878	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(29)	(0.422)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(28)	(0.411)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.048	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(3)	(0.042)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.006)	
(c) そ の 他 費 用	4	0.053	(c) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.030)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(1)	(0.021)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	67	0.979	
作成期間の平均基準価額は、6,809円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

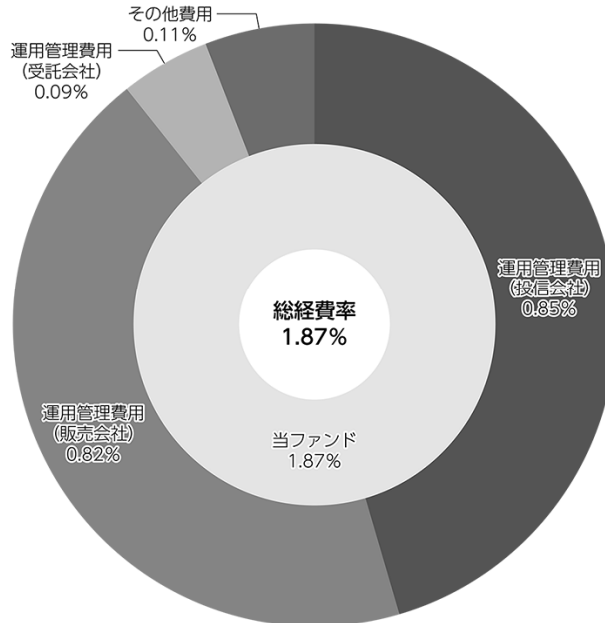
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



(注) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年2月16日～2021年8月16日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第51期～第52期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
オーストラリア株式マザーファンド	千口 495,640	千円 1,213,227	千口 138,991	千円 344,763

○株式売買比率

(2021年2月16日～2021年8月16日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第51期～第52期	
	オーストラリア株式マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	2,194,420千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	5,352,373千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.40	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2021年2月16日～2021年8月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年2月16日～2021年8月16日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年2月16日～2021年8月16日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2021年8月16日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第50期末	第52期末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
オーストラリア株式マザーファンド	1,462,273	1,818,922	4,607,875

(注) 親投資信託の2021年8月16日現在の受益権総口数は、2,471,765千口です。

○投資信託財産の構成

(2021年8月16日現在)

項 目	第52期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
オーストラリア株式マザーファンド	4,607,875	93.7
コール・ローン等、その他	310,064	6.3
投資信託財産総額	4,917,939	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) オーストラリア株式マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(6,404,223千円)の投資信託財産総額(6,547,999千円)に対する比率は97.8%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1オーストラリアドル=80.53円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第51期末	第52期末
	2021年5月17日現在	2021年8月16日現在
	円	円
(A) 資産	4,250,530,681	4,917,939,407
コール・ローン等	235,932,374	202,037,373
オーストラリア株式マザーファンド(評価額)	3,822,719,447	4,607,875,512
未収入金	191,878,860	108,026,522
(B) 負債	258,245,521	155,252,742
未払収益分配金	213,299,902	128,242,300
未払解約金	26,884,702	5,877,174
未払信託報酬	16,836,296	19,513,922
未払利息	40	87
その他未払費用	1,224,581	1,619,259
(C) 純資産総額(A-B)	3,992,285,160	4,762,686,665
元本	5,924,997,298	7,124,572,256
次期繰越損益金	△1,932,712,138	△2,361,885,591
(D) 受益権総口数	5,924,997,298口	7,124,572,256口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,738円	6,685円

(注) 当ファンドの第51期首元本額は5,178,430,221円、第51～52期中追加設定元本額は3,178,740,619円、第51～52期中一部解約元本額は1,232,598,584円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第51期0.6738円、第52期0.6685円です。

(注) 2021年8月16日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は2,361,885,591円です。

○損益の状況

項 目	第51期	第52期
	2021年2月16日～ 2021年5月17日	2021年5月18日～ 2021年8月16日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 913	△ 5,617
支払利息	△ 913	△ 5,617
(B) 有価証券売買損益	360,601,005	104,701,013
売買益	393,512,665	107,029,414
売買損	△ 32,911,660	△ 2,328,401
(C) 信託報酬等	△ 17,348,697	△ 19,950,665
(D) 当期損益金(A+B+C)	343,251,395	84,744,731
(E) 前期繰越損益金	9,478,639	130,797,296
(F) 追加信託差損益金	△2,072,142,270	△2,449,185,318
(配当等相当額)	(1,103,876,359)	(1,368,215,361)
(売買損益相当額)	(△3,176,018,629)	(△3,817,400,679)
(G) 計(D+E+F)	△1,719,412,236	△2,233,643,291
(H) 収益分配金	△ 213,299,902	△ 128,242,300
次期繰越損益金(G+H)	△1,932,712,138	△2,361,885,591
追加信託差損益金	△2,072,142,270	△2,449,185,318
(配当等相当額)	(1,107,191,206)	(1,369,377,826)
(売買損益相当額)	(△3,179,333,476)	(△3,818,563,144)
分配準備積立金	139,430,132	87,299,727

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2021年2月16日～2021年8月16日の期間に当ファンドが負担した費用は9,008,882円です。

(注) 分配金の計算過程(2021年2月16日～2021年8月16日)は以下の通りです。

項 目	2021年2月16日～ 2021年5月17日	2021年5月18日～ 2021年8月16日
a. 配当等収益(経費控除後)	63,899,656円	20,158,310円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	279,351,739円	64,586,421円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,107,191,206円	1,369,377,826円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	9,478,639円	130,797,296円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,459,921,240円	1,584,919,853円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	2,463円	2,224円
g. 分配金	213,299,902円	128,242,300円
h. 分配金(1万円当たり)	360円	180円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

	第51期	第52期
1 万口当たり分配金 (税込み)	360円	180円

○お知らせ

約款変更について

2021年2月16日から2021年8月16日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

その他の変更について

当ファンドが実質的な投資対象の1つとしている「オーストラリア株式マザーファンド」(以下、投資対象マザーファンド)につき、運用指図権限の委託先である「日興AMリミテッド」が、ヤラ・キャピタル・マネジメント・グループに統合され、その商号を「ヤラ・キャピタル・マネジメント・リミテッド」に変更したため、2021年5月15日付にて投資顧問会社の名称変更に伴う約款変更を行ないました。投資対象マザーファンドの運用に関して、運用方針や運用体制に実質的な影響はございません。また、信託報酬の総額は変更ございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

オーストラリア株式マザーファンド

運用報告書

第13期（決算日 2021年8月16日）
（2020年8月18日～2021年8月16日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2008年9月26日から原則無期限です。
運用方針	主として、オーストラリア企業の自国通貨建上場株式あるいは他通貨建上場株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	オーストラリア企業が発行する金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、オーストラリア企業の自国通貨建上場株式あるいは他通貨建上場株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

株式の銘柄選定にあたっては、市場動向や各銘柄毎の成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。

株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。

外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<436801>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		S&P/ASX (円換算 (ベンチマーク))	200指数 ベース)	株組入比率	投資信託 組入比率	純資産額
	期騰落	中率					
	円	%		%	%	%	百万円
9期(2017年8月15日)	19,247	25.7	113.29	15.7	92.1	5.0	1,586
10期(2018年8月15日)	19,995	3.9	115.75	2.2	96.9	2.1	5,957
11期(2019年8月15日)	18,354	△ 8.2	107.85	△ 6.8	92.3	5.8	5,854
12期(2020年8月17日)	18,074	△ 1.5	107.04	△ 0.8	88.9	9.0	5,325
13期(2021年8月16日)	25,333	40.2	140.19	31.0	92.3	6.0	6,261

(注) S&P/ASX 200指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス (S&PDJI) が発表している、オーストラリア証券取引所上場の時価総額上位200銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。同指数の(円換算ベース)とは、公表指数を基に円換算したものです。なお、設定時を100として2021年8月16日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		S & P / A S X (円換算 (ベンチマーク))	200指数 ベース)	株組入比率	投資信託 組入比率	純資産額
	騰落	率					
(期首) 2020年8月17日	円	%		%	%	%	
	18,074	—	107.04	—	88.9	9.0	
8月末	18,190	0.6	107.41	0.3	86.9	9.0	
9月末	17,337	△ 4.1	102.53	△ 4.2	84.8	11.6	
10月末	16,932	△ 6.3	100.06	△ 6.5	85.2	11.9	
11月末	20,387	12.8	115.85	8.2	85.5	11.5	
12月末	20,931	15.8	120.54	12.6	87.5	11.5	
2021年1月末	21,283	17.8	121.51	13.5	85.4	10.9	
2月末	23,294	28.9	129.91	21.4	86.7	11.1	
3月末	23,652	30.9	129.71	21.2	86.3	11.2	
4月末	24,708	36.7	136.96	28.0	87.7	8.6	
5月末	25,104	38.9	138.56	29.5	88.9	6.4	
6月末	24,813	37.3	138.48	29.4	89.4	6.2	
7月末	24,454	35.3	136.86	27.9	91.3	6.0	
(期末) 2021年8月16日	円	%		%	%	%	
	25,333	40.2	140.19	31.0	92.3	6.0	

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2020年8月18日～2021年8月16日)

基準価額の推移

期間の初め18,074円の基準価額は、期間中に25,333円となり、騰落率は+40.2%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・新型コロナウイルスのワクチン接種の進展による経済活動の正常化が期待されたこと。
- ・鉄鉱石や原油価格など、資源価格が上昇したこと。

<値下がり要因>

- ・新型コロナウイルスの感染再拡大を受けた経済活動の制限強化への警戒感から、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと。
- ・米国連邦準備制度理事会（FRB）が利上げ時期を前倒しするとの観測から、先進国を中心に景気の鈍化が懸念されたこと。

(オーストラリア株式市況)

オーストラリア株式市場は、期間を通じて概ね上昇基調で推移しました。

期間の初めは新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて一部地域でロックダウン（都市封鎖）が実施されたことや、米中関係緊迫に対する警戒感などから、上値の重い展開となりました。2020年11月に入ると、オーストラリアにおける新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きや、米国大統領選挙が終了したこと、オーストラリア準備銀行（RBA）による利下げなどが好感され、上昇基調となりました。またワクチン普及による景気回復期待などを下支えとして世界的に市場センチメントが好転しました。その後も堅調なマクロ経済指標、鉄鉱石など資源価格の上昇、米国バイデン新政権による大型の追加経済対策期待なども、株価の押し上げ材料となり上昇基調が続きました。2021年に入るとテクノロジーセクターで長期金利の上昇などを受けて世界的に利益確定売りが先行する場面がありました。また一部の州での洪水被害や新型コロナウイルス対策としてロックダウンがありましたが、市場への影響は軽微にとどまりました。その後は、失業率などが改善を続け市場の追い風となりましたが、金融セクターが6月後半から一時軟調となったほか、新型コロナウイルス変異株の感染拡大も懸念され方向感が出にくい市場環境となりました。ただ期間末にかけては世界的に株価が上昇基調で推移するなか、オーストラリア株式市場も堅調に推移しました。

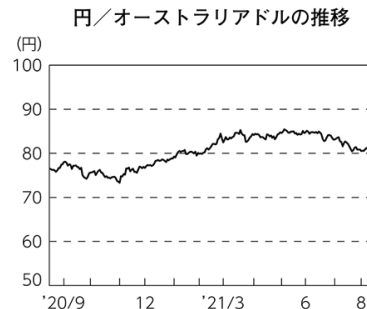
基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2020/08/17	2021/06/07	2020/09/23	2021/08/16
18,074円	25,793円	16,750円	25,333円

(為替市況)

期間中における円／オーストラリアドル相場は、右記の推移となりました。



ポートフォリオ

期間中、ポートフォリオでは、業種リスクなども考慮した上で活発な銘柄入替を行ないました。

期間前半では、魅力的なディフェンシブ（景気動向に左右されにくい）銘柄に積極姿勢で臨みました。具体的には容器・包装/アムコア（素材）などで、この銘柄はまた配当利回りも魅力的です。一方で、株価が大きく上昇した鉄鋼大手/ブルースコープ・スチール（素材）などには消極姿勢で臨みました。

期間後半では、同業種内でも積極的に売買を行ないました。具体的には、オーストラリア株式を代表するような大型の素材株を若干入れ替えました。また大幅なアンダーウェイトとなっていたヘルスケアセクターでは、魅力的なバリュエーション（株価評価）であった銘柄に積極姿勢で臨んだほか、オーバーウェイトとなっていた金融セクターについては、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）とバリュエーションを慎重に検討した上で、複数銘柄の部分売却を行なっております。

当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は40.2%の値上がりとなり、ベンチマークである「S&P/ASX 200指数（円換算ベース）」の上昇率31.0%を概ね9.2%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

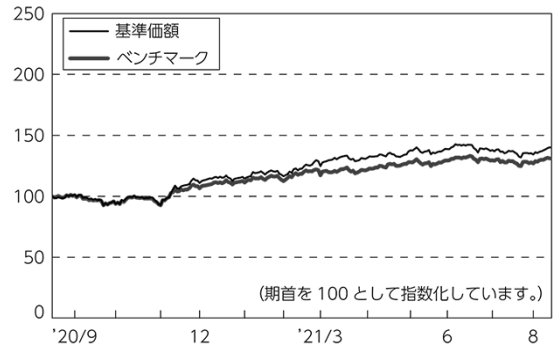
<プラス要因>

- ・銀行大手/ANZ銀行グループ（金融）：当期間、銀行株はおおむねアウトパフォームしました。主要銀行の業績は、不良債権比率の低下などが予想され市場から好感されました。株価の上昇からオーバーウェイトポジションがプラスに寄与しました。
- ・容器・包装メーカー/オーロラ（素材）：当社は米国に大きな商圏を持っていますが、米国の産業用包装材市場や段ボール箱市場が好調であったことから、株価が好調に推移しオーバーウェイトポジションがプラスに寄与しました。

<マイナス要因>

- ・商業銀行大手/オーストラリア・コモンウェルス銀行（金融）：当期間、銀行株はおおむねアウトパフォームしました。主要銀行の業績は、不良債権比率の低下などが予想され市場から好感されました。株価の上昇からアンダーウェイトポジションがマイナスに影響しました。
- ・決済サービス会社/アフターペイ（情報技術）：新型コロナウイルスの影響によりロックダウンが強化されるなかで電子商取引が増加したことや、買収が発表されたことなどが株価の追い風となりました。非保有としていたことで株価の上昇がマイナスに影響しました。

基準価額とベンチマーク（指数化）の推移



○今後の運用方針

2020年後半に始まったスタイルローテーションとバリュー株の急激な上昇にもかかわらず、ここ数年ではバリュー株はグロース株に対して大幅にアンダーパフォームしています。バリュー株は一般的に、企業収益の大きな谷の後、長期間にわたってアウトパフォームする傾向があります。今回、この結果が繰り返されない理由はほとんどなく、長期にわたるアンダーパフォームと依然として割安なバリュー株が多く見受けられることを考慮すると、バリュー優位は長期化する可能性があります。バリューローテーションの次の段階では、割安なバリュー銘柄の利益成長と、割高な銘柄の株価収益率（P E R）の低下が、超過収益の原動力になると期待しています。

バリュー運用には厳しい10年を経て、規律ある運用プロセスを備えたバリュー投資家が報われるような魅力的な投資機会が訪れていると考えています。当ファンドの運用プロセスは、この投資機会を前にして良好な位置にあります。当ファンドでは、長期的な投資期間を活用して現在の不確実性のかなりの部分を見通すこと、また緻密なボトムアップにより景気回復時に報われる可能性の高い割安な銘柄を特定することに注力します。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2020年8月18日～2021年8月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 25 (23) (2)	% 0.116 (0.105) (0.011)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	13 (13)	0.061 (0.061)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	38	0.177	
期中の平均基準価額は、21,757円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年8月18日～2021年8月16日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株 23,869 (10,162)	千オーストラリアドル 28,044 (2,359)	百株 42,370 (11,206)	千オーストラリアドル 34,254 (2,659)

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	オーストラリア	口	千オーストラリアドル	口	千オーストラリアドル
	DEXUS	21,905	193	262,847	2,659
	GPT GROUP	—	—	382,404	1,680
	LENDLEASE GROUP	77,920	928	46,839	639
	STOCKLAND	359,515	1,350	124,863	571
	小計	459,340	2,473	816,953	5,550

(注) 金額は受け渡し代金。

○株式売買比率

(2020年8月18日～2021年8月16日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	4,986,859千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,992,391千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.99

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2020年8月18日～2021年8月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年8月18日～2021年8月16日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2021年8月16日現在)

外国株式

銘柄	株数	当期		業種等	
		株数	評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額		
		千オーストラリアドル	千円		
(オーストラリア)	百株	百株			
AMCOR PLC-CDI	—	1,436	2,360	190,106	素材
AUST AND NZ BANKING GROUP	1,915	1,761	5,202	418,993	銀行
ANSELL LTD	91	298	1,185	95,445	ヘルスケア機器・サービス
APA GROUP	—	1,219	1,190	95,847	公益事業
ARISTOCRAT LEISURE LTD	617	269	1,144	92,171	消費者サービス
BHP GROUP LTD	698	1,080	5,707	459,603	素材
BLUESCOPE STEEL LTD	1,256	—	—	—	素材
BORAL LTD	2,073	—	—	—	素材
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	363	154	1,604	129,223	銀行
COLES GROUP LTD	2,224	2,166	3,986	321,005	食品・生活必需品小売り
VIRGIN MONEY UK PLC - CDI	5,851	1,087	428	34,495	銀行
DOWNER EDI LTD	5,211	4,191	2,544	204,875	商業・専門サービス
ENDEAVOUR GROUP LTD/AUSTRALI	—	406	286	23,088	食品・生活必需品小売り
G. U. D. HOLDINGS LTD	429	1,311	1,482	119,364	自動車・自動車部品
G8 EDUCATION LTD	10,416	6,918	702	56,550	消費者サービス
GWA GROUP LTD	2,098	494	130	10,470	資本財
JANUS HENDERSON GROUP-CDI	213	—	—	—	各種金融
ILUKA RESOURCES LTD	1,562	654	614	49,517	素材
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	—	4,405	2,392	192,660	保険
INGHAMS GROUP LTD	3,559	3,220	1,243	100,117	食品・飲料・タバコ
IOOF HOLDINGS LTD	1,509	4,506	2,176	175,276	各種金融
JAMES HARDIE INDUSTRIES PLC-CDI	190	—	—	—	素材
MACQUARIE GROUP LTD	—	94	1,554	125,197	各種金融
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	1,777	1,527	4,232	340,821	銀行
NUFARM LTD	2,553	—	—	—	素材
OIL SEARCH LTD	5,153	3,720	1,480	119,230	エネルギー
ORIGIN ENERGY LTD	3,147	2,322	1,033	83,217	公益事業
ORORA LTD	6,513	5,768	2,134	171,869	素材
OZ MINERALS LTD	1,534	—	—	—	素材
QBE INSURANCE GROUP LTD	1,852	1,612	2,028	163,340	保険
AURIZON HOLDINGS LTD	3,361	4,292	1,716	138,254	運輸
RIO TINTO LTD	85	192	2,315	186,436	素材
SKYCITY ENTERTAINMENT GROUP	1,334	1,276	391	31,553	消費者サービス
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	3,869	—	—	—	公益事業
SUNCORP GROUP LTD	2,888	1,970	2,436	196,248	保険
TASSAL GROUP LTD	2,921	4,408	1,578	127,102	食品・飲料・タバコ
TELSTRA CORPORATION LTD	9,280	8,066	3,194	257,248	電気通信サービス
TRANSURBAN GROUP	1,094	1,255	1,692	136,310	運輸
VIVA ENERGY GROUP LTD	13,340	8,679	1,787	143,982	エネルギー
WESTPAC BANKING CORP	1,746	1,874	4,903	394,858	銀行
WESFARMERS LTD	191	123	805	64,832	小売
WOOLWORTHS GROUP LTD	556	406	1,658	133,550	食品・生活必需品小売り
WOODSIDE PETROLEUM LTD	344	1,111	2,465	198,556	エネルギー
合計	株数・金額	103,832	84,286	71,792	5,781,426
	銘柄数<比率>	38	36	—	<92.3%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	口	口	千オーストラリアドル	千円	%
DEXUS	240,942	—	—	—	—
GPT GROUP	457,464	75,060	349	28,167	0.4
LENLEASE GROUP	140,948	172,029	2,165	174,415	2.8
STOCKLAND	242,737	477,389	2,153	173,383	2.8
合 計	口 数 ・ 金 額	1,082,091	724,478	4,668	375,966
	口 数 < 比 率 >	4	3	—	<6.0%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2021年8月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	5,781,426	88.3
投資証券	375,966	5.7
コール・ローン等、その他	390,607	6.0
投資信託財産総額	6,547,999	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(6,404,223千円)の投資信託財産総額(6,547,999千円)に対する比率は97.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1オーストラリアドル=80.53円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年8月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,699,289,857
コール・ローン等	255,890,378
株式(評価額)	5,781,426,150
投資証券(評価額)	375,966,312
未収入金	254,293,193
未収配当金	31,713,824
(B) 負債	437,676,433
未払金	275,954,472
未払解約金	161,721,954
未払利息	7
(C) 純資産総額(A-B)	6,261,613,424
元本	2,471,765,185
次期繰越損益金	3,789,848,239
(D) 受益権総口数	2,471,765,185口
1万口当たり基準価額(C/D)	25,333円

(注) 当ファンドの期首元本額は2,946,487,929円、期中追加設定元本額は990,290,290円、期中一部解約元本額は1,465,013,495円です。

(注) 2021年8月16日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・オーストラリア株式マザーファンド 1,818,922,162円
 ・オーストラリア株式マザーファンド(適格機関投資家向け) 652,843,023円

(注) 1口当たり純資産額は2,5333円です。

○損益の状況 (2020年8月18日～2021年8月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	228,964,173
受取配当金	228,965,424
支払利息	△ 1,251
(B) 有価証券売買損益	1,703,980,019
売買益	1,812,089,846
売買損	△ 108,109,827
(C) 保管費用等	△ 3,515,099
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,929,429,093
(E) 前期繰越損益金	2,379,077,116
(F) 追加信託差損益金	1,225,713,762
(G) 解約差損益金	△1,744,371,732
(H) 計(D+E+F+G)	3,789,848,239
次期繰越損益金(H)	3,789,848,239

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2020年8月18日から2021年8月16日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、運用指図権限の委託先を「日興AMリミテッド」としておりましたが、当該運用委託先がヤラ・キャピタル・マネジメント・グループに統合されたことに伴い、その名称を「ヤラ・キャピタル・マネジメント・リミテッド」へ変更したため、2021年5月15日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(第16条)